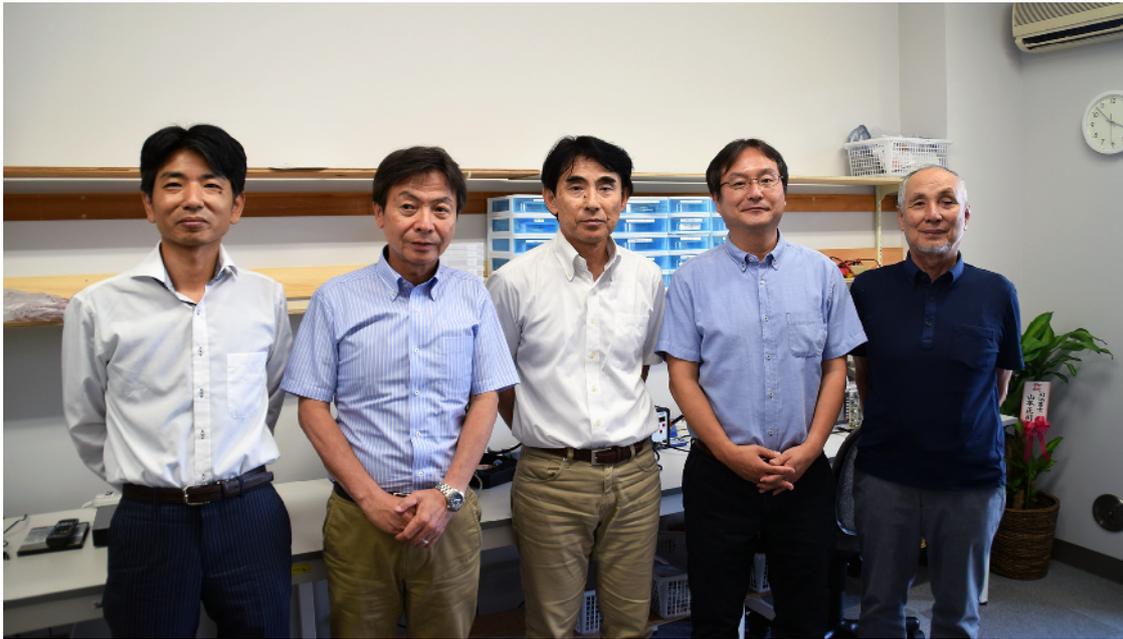


入居企業紹介 その154

SICに入居されている企業様をご紹介します。

>>> SIC-1 株式会社ファストリンクテック

「より顧客に近い位置で先端技術に向き合っていく！！」



写真左から：宮本 祐次（代表取締役社長）さん、鈴木 隆夫（副社長）さん、染谷 峰男さん、菊地 真也さん、三浦 裕（監査役）さん

【代表プロフィール】

株式会社ファストリンクテック

代表取締役 宮本 祐次（みやもと ゆうじ）

岡山県高梁市出身 相模原市在住

ファストリンクテック社は今年4月にSICに入居、5月に法人として設立されました。代表を務める宮本さんは小学生の頃、まだ珍しかったパソコンを自分用に買ってもらい、友達とはいろんなプログラミングに挑戦していました。地元の高校を卒業後、愛媛大学工学部電気電子工学科に進み、ハードディスクの信号処理技術を研究。一方で、サークル団体に所属して夢中になったのが“洞窟探検”で、鍾乳洞が多い中国・四国地方の地形特性もあって、当時は行政からの観光開発調査にも携わりました。興味がわく分野に足を踏み入れてしまうというの間にか、人よりのめり込んでしまう性格とのことです。

【入居のきっかけ】

高速データ通信が急速に普及していく中、よりお客様と近い距離でニーズを的確に捉えた仕事をしたいという想いから起業を決意し、前職からの同僚や仕事仲間であったメンバーと会社設立に向けて準備を進めてきました。設計や開発業務を行なうことから、いくつかのインキュベーション施設を候補として検討し、それまでは通勤に時間がかかっていたこともあり、近い場所で作業環境を整えたいと考え、SICに入居することになりました。

【事業紹介】

ファストリンクテック社の主な事業内容は大容量HDDや光通信デバイスの検査装置“BERT（Bit Error Rate Tester）”とMAMR（マイクロ波アシスト磁気記録）方式の磁気ヘッド評価装置の開発・販売です。データセンタを中心とするHDDや光通信デバイスの生産量が世界的に増加していくことを見据え、量産検査用途のBERTを販売していきます。また、MAMR方式によって大容量化されるHDDは関連する大手企業により製品化が進められています。ファストリンクテック社の評価装置が各社の検査ラインでいち早く採用されることを目指しています。

そのほか、通信デバイスやHDDに関するカスタム検査システムの開発・販売も行い、顧客ニーズに合わせた装置とソリューションを提供していきます。

【今後の目標】

情報ネットワークは豊かな社会の形成には必要不可欠なもので、これからもさらに高度化していきます。その技術革新に貢献し続ける会社として多彩なエンジニアが揃い、ファストリンクテックが産声を上げました。それぞれの専門分野やこれまでの経験を活かし、市場や顧客が求める技術や機器で世界規模の普及を目指しています。

(SIC片山)

株式会社ファストリンクテック(FLTEK)

SIC-1 325号室

URL: <https://fltek.jp/>

お知らせ

SIC カイゼン・スクール

KAIZEN SCHOOL



ものづくり中小企業では、生産現場で働く人たちの日々のカイゼン活動が、業績の改善に直結することも少なくありません。本スクールは、トヨタ生産方式に精通した講師陣による実践的なスクールとして、2018年も開講いたします。

- 会 期 個別現場診断・ヒアリング・・・7月中旬より順次訪問
平成30年9月8日(土)～12月8日(土)全7回
- 会 場 SIC、サン・エールさがみはら 他
- 対象者 製造等の現場リーダー層の方 など
- 参加費 お一人 110,000円(税別)
- 募集人数 15名(1社から4名までの参加可) ※先着順
- 主催：SIC・株式会社カイゼン・マイスター 後援：相模原市
協力：横浜銀行、きらぼし銀行、西武信用金庫、日本政策金融公庫
- お問い合わせ先 担当：樽川(SIC-1)

「第40回南西フォーラム」 AIで変わる”未来”と実用化の”現在地” ～中小企業における人工知能の活用可能性～

- 日時：平成30年8月28日(火)16時～19時30分(受付15:30～)
- 会場：町田市文化交流センター(プラザ町田ビル5階・けやき)

今回の南西フォーラムは、中小企業がAIとどう向き合うべきか、実際の導入事例や最先端の研究事例などの紹介を通して考え、自社の経営に活かしていくことを目的として開催いたします。



モデレーター基調講演(16:05～)

【基調講演】

「人工知能はこれからの産業やビジネスのあり方をどう変えていくのか」
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
企画管理部門 副部門長/テクノロジー・エバンジェリスト
(兼務) Japan Digital Design 株式会社 主席研究員 梅木 秀雄氏
“そもそもAI(人工知能)とは何か?”、“これからの産業やビジネスのあり方をどう変えていくのか?”といった疑問に対して、AIに関する研究開発や製品化などに携わってきたモデレーターより、AIの可能性や課題、影響などについてお話しします。

事例発表(16:35～)

事例発表①「AIに対する誤解を解消し、AIとよい関係を築く」
株式会社アジラ
最高執行責任者(COO) 三村 完氏

町田市発のAIベンチャーであるアジラ社は、特にディープラーニングを活用した画像認識、行動認識サービスの企画開発に取り組んでいます。AIにまつわるいくつかの誤ったイメージを解消し、無理のない導入・活用のロードマップを、事例を踏まえて解説します。

事例発表②「最適な保育所入所選考を実現するAIを用いたマッチング」
株式会社富士通マーケティング
サービス&プロダクトビジネス推進統括部
AI&IoTビジネス推進部

20～30名の職員が多くの日数をかけて行ってきた保育所入所選考について、AIを活用することでわずか数秒で算出することが可能となっています。さいたま市で実証された当該事例をはじめ、多様な条件を最適にマッチングするAI技術に関する取組やその可能性などについてご紹介します。

研究発表(17:45～)

「人工知能による問題解決のスタートラインの立ち方-事例紹介と体験を通じて-」
東京工業高等専門学校 電気工学科 助教 大前 佑斗氏

人工知能を問題解決に活用するためには、分析者がどのような視点で問題を見つめ、人工知能を構築していくのか、これらの思考過程を知ることが重要です。本講演ではその視点から応用例(トップアスリート支援、アクティブラーニング支援など)を解説し、どのように問題を見つめると良いのか、参加者の方々と一緒に考えていきます。

フォーラムを振り返って(18:15～)

「中小企業における人工知能の活用可能性と留意ポイント」
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
企画管理部門 副部門長 テクノロジー・エバンジェリスト
(兼務) Japan Digital Design 株式会社 主席研究員 梅木 秀雄氏

交流会(参加費無料)(18:40～)

- 参加費：無料
- 定員：150名(応募多数の場合は申込み順)
- お問い合わせ先 担当：樽川(SIC-1)

「子どもアントレ」 販売日のお知らせ



8月24日～26日の3日間、恒例の子どもアントレを開催。最終日に商品を販売します。是非、お立ち寄りください。

日時：8月26日(日)
10時30分～12時
場所：相模大野駅北口
ペDESTリアンデッキ

※お問い合わせ先
担当：上野(SIC-2)

「SIC 空き室情報」

SICの空き室情報です。

- セミラボ：実験、評価、分析などのウェットラボとして、設計、試作など研究開発ラボとして、目的に合わせてご利用いただけます。
- スモールオフィス：数名での事業活動に最適なオフィスとしてご活用いただけます。

増床・移転をご希望の方はご検討ください。

※お問い合わせ先 担当：大谷・稲垣(SIC-2)

空き室情報！

SIC 空き室情報 (平成30年8月1日現在) ※お気軽にお問い合わせください。

SIC-1

- スモールオフィスA(23.6㎡) 303号室
- スモールオフィスA(23.6㎡) 305号室
- スモールオフィスA(23.6㎡) 309号室
- △セミラボB(31.5㎡) 208号室
- △スモールオフィスB(17.3㎡) 319号室

※△：9月以降入居可能です。

編集 後記



7月11日(水)第6回経営者の会を開催いたしました。盛り上がりすぎて、当初予定の席のシャッフルが出来ないくらいでした。SIC設立当初から入居されているサンマルコ株式会社の丸子様から、何気ない人の出会いが大切なご縁に繋がるお話をいただきました。「縁は異なるものの味なもの」、恋も恋愛も友情もそしてビジネスも、ほんの些細なきっかけから生じると申します。ビジネスでは、常に一期一会の精神が肝要でしょうか。
荻島